

**医師が考えた少額短期保険㈱／
医師が考えたがん治療のための“免疫保険”（がん免疫細胞療法保険）**

一般社団法人日本少額短期保険協会主催の「第1回少額短期保険大賞」受賞
 ※最先端医療は公的医療保険の適用に高いハードルがあり、治療費は高額になりがち。最先端のがん治療である「がん免疫細胞療法」の治療費を保障できるように開発したこの保険は、2015年3月、「第1回少額短期保険大賞」を受賞。

- (1) 特徴：①最先端のがん治療である「がん免疫細胞療法」を保障。
 ②がん診断時に、治療の選択肢を広げ、治療費の心配なく安心して治療に取り組むための一時金として、まとまった保険金が支払われる。
 ③保障を絞り込んだことで、保険料は手頃。
 ④がんと診断されると、翌月以降の保険料免除。
 ⑤20歳から74歳まで申し込みができる。（84歳まで更新可能）

(2) 保障内容（保険金額）一覧表

がんと診断されたら	がん免疫細胞療法を受けたら
100万円	60万円

※総額160万円でがん免疫細胞療法の治療費を保障する。（上皮がんは除く）

さらに、がん免疫細胞療法を受けたにもかかわらず がん診断から1年以内にながんで死亡した場合	100万円
--	-------

(3) 保険料

年齢	男 性		女 性	
	月払保険料（円）	年払保険料（円）	月払保険料（円）	年払保険料（円）
20～24歳	390（注③）	4,520	400（注③）	4,640
25～29歳	400（注③）	4,640	440（注③）	5,100
30～34歳	420（注③）	4,870	560（注③）	6,500
35～39歳	490（注③）	5,680	710（注③）	8,240
40～44歳	600	6,960	980	11,370
45～49歳	830	9,630	1,310	15,200
50～54歳	1,330	15,430	1,490	17,280
55～59歳	2,220	25,750	1,770	20,530
60～64歳	3,440	39,900	2,120	24,590
65～69歳	5,060	58,700	2,510	29,120
70～74歳	7,070	82,010	3,050	35,380
75～79歳	8,890	103,120	3,630	42,110
80～84歳	10,520	122,030	4,430	51,390

医師が考えた少額短期保険株／ 医師が考えた女性のためのミニがん保険980(女性がん保険)

一般社団法人日本少額短期保険協会主催の「第4回少額短期保険大賞」受賞
 ※女性特有のがんは比較的若い世代から発症する。女性特有のがんに、月額
 980円で手軽に備える「ミニがん保険」として開発したこの保険は、201
 8年3月、「第4回少額短期保険大賞」を受賞。

- (1) 特 徴：①続けてほしいから、保険料はずっと月額980円。
 ②女性特有のがんを重点保障。
 ③がん診断時にまとまった額の保険金が支払われるから、がん治療の選択肢が広がる。
 ④上皮内がんの治療保障もあるから安心。
 ⑤万が一の時に、残されたご家族のための死亡保障がある。
 ⑥20歳から59歳まで申し込みができる。（69歳まで更新可能）

(2) 保障内容（保険金額）一覧表

（単位：万円）

年齢	がん診断保険金 （上皮内がんは除く）		上皮内がん治療保険金			死亡保険金	
	乳房・子宮・卵巣のがん	乳房・子宮・卵巣以外のがん	乳房の上皮内がん	子宮の上皮内がん	乳房・子宮以外の上皮	がんによる死亡	がん以外での死亡
20-24歳	80	50	80	20	5	300	290
25-29歳	80	50	80	20	5	300	290
30-34歳	80	50	80	20	5	300	290
35-39歳	80	50	80	20	5	160	150
40-44歳	80	50	80	20	5	80	70
45-49歳	80	50	80	20	5	10	0
50-54歳	60	40	60	15	4	10	0
55-59歳	60	40	60	15	4	10	0
60-64歳	40	40	40	10	4	10	0
65-69歳	40	30	40	10	3	10	0

注①がん診断と上皮内がん治療の保険金額は、年齢と部位によって異なる。

②がん診断保険金、上皮内がん治療保険金が満額支払われた後は、死亡保障のみの保険に変更される。
 （保険料は安くなる。）

③死亡保障の保険金額は、年齢と死亡原因によって異なる。